

オンライン講習会の手引き 「JCAHPC Open Hackathon」

東京大学情報基盤センター
2025年1月

質問は下川辺まで：[shimokawabe\(at\)cc.u-tokyo.ac.jp](mailto:shimokawabe@cc.u-tokyo.ac.jp)

はじめに

- 東京大学情報基盤センター（以下、本センター）では
2025年1月31日，2月3日，10日，17日に第239回お試しアカウント付き並列プログラミング講習会「JCAHPC Open Hackathon」を開催します。
 - 本ハッカソンでは，既存のCPUシミュレーションコードをGPU化する方や，既存の単体GPUコードを複数GPUコードにする方などを対象に，Miyabiシステムを活用した実践を行います。
 - ハッカソンでは、参加者がコードやデータセットを持ち込み、GPUに関連した課題に対して、メンターからの助言を受けながら、その課題解決に取り組みます。
 - 本講習会は，ZoomおよびSlackを用いたハイブリッド講習会として実施します。
- 本ハッカソン参加者にはセンターのスーパーコンピューターを2025年3月末まで利用できる無料アカウント（お試しアカウント）を発行します（特例としてハッカソン参加者には年度末まで利用可能なアカウントが発行されます）。

事前準備

- 本資料と下記の講習会共通の手引き（別ファイル）をよく読んで、ハッカソン参加のための事前準備を行なってください。
 - 講習会共通の手引き：「お試しアカウント付き並列プログラミング講習会の手引き
「Miyabiへのログイン方法」」
 - 事前準備として、講習会当日までに
 - Miyabiへのログイン（別ファイル「講習会共通の手引き」参照）
 - ZoomとSlackの準備
- を行なってください。
- 本ハッカソンで利用するログインノードは、Miyabi-G (miyabi-g.jcahpc.jp)です。
 - 本ハッカソンの講習会当日は、Miyabiシステムへログインできるようになっていることを前提とします。
 - 本資料の後半は補足資料になっています。必要に応じて参照ください。

Zoomの準備

- ダウンロード:
https://zoom.us/download#client_4meeting
- クライアントを事前にインストールしてください。
 - 今回、各自のZoomアカウントを作る必要はありません。
- インストール済みの方は、必ず最新バージョンに更新してください。
 - 最新バージョンでないと接続できない可能性があります!!
- 使い方:
https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/zoom/how_to_use

Slackの登録

- 質疑応答には、Slackを使います。
- 本ハッカソンでは、申込時に登録されたメールアドレスに対して、ハッカソン用のSlack ワークスペースへ招待致します。
- 申込時と異なるメールアドレスを登録したい場合は、ご相談ください。
- チャンネルは、
 - 「JCAHPC Open Hackathon」は、[utokyo-20250203](#)を利用します。

チーム専用ディレクトリ

- 本ハッカソンでは、個人利用の /work/gt01/tVWXYZ ディレクトリの他に、チーム専用のディレクトリが利用できます。チームで共有するコードやデータなどはこちらに転送ください。
- チーム専用ディレクトリへは、同一チームのメンバーの講習会アカウントと一般アカウント(事前申告があった場合のみ)、メンターのアカウントがアクセスできます。
- チーム専用ディレクトリは、講習会の受付番号が **k24-16-239-xx** のとき、以下となります。
 - /work/gt01/GROUP_239-xx

YouTubeチャンネルのご紹介



研究事例紹介や、セミナー・講習会の録画などをご覧になれます。

- 「東京大学情報基盤センター」チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC2CHaGp1AO-vqRIV7wmU0-w>

- Miyabi利用説明会

<https://youtu.be/2u17okBTwx0?si=CW0wFtunbYaU1d4c>

- お試しアカウントつき講習会

https://www.youtube.com/playlist?list=PLobjSv_ny85kXY2Mtnhn1k7pM-epQaD2y